
友達兼同居人

スケープゴート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

友達兼同居人

【Nコード】

N7268L

【作者名】

スケープゴート

【あらすじ】

片付けられないわたしと神経質な同居人の会話

「なんであなたはいつも片付けられないの!」

ヒステリックに友達が叫ぶ。

どうしてって言われても…とわたしは首を傾げた。

「どうしてって聞いてるでしょ!」

腰に手を当てて友達が叫ぶ。

彼女の足元には、わたしのマンガがある。

よく見れば昨日無いと言って探していた本だった。

「ね、その本とって。昨日探してたのよ」

彼女は足元に目をやって、その本を踏みつけた。

「ああ!」

「馬鹿ね!片付けなさいって言っているのに散らかすものを貴方に渡せると思っているの?」

「だからって踏むことないじゃん!」

「だから、どうして片付けられないの。片付けたら渡してあげる。」

寝転んでるわたし。仁王立ちの彼女は眉を吊り上げて怒ってる。

「じゃあ、どうして片付けるの?」

「次の日を快適に過ごすためよ」

「じゃあ、どうやったら片付けられるのさ」

「あら、簡単なことだわ」

目をまん丸くして彼女は得意そうに言う。

「まず、自分の存在意義を考えるのよ。どうして私は生きてるんだろって。そうしたら自然と今自分の周りにある物が本当にいる物といらない物に別れてくるわ」

「自然と?」

「ええ、自然と」

「ふうん」

ずいぶんと難しいことを考えながら彼女は片付けをするらしい。なんだかなあ。

「ほら、わかったら始めなさい」

「なんだか難しいよ。自分の存在意義なんて」

「なんですって」

彼女は眉をひそめる。腰にあてた手を組んだ。

「たとえば、今日のわたしはこのお菓子を食べるために生きてるの
ーってダメかな」

「じゃあ、これまでの自分は？」

「もちろん、君に出会うためさね」

「馬鹿言つて」

「これからの自分は明日のご飯のため、もしくはおいしいケーキの
ため」

「…安い存在意義ね」

「つまり言つと、妙に堅い考えを持ちながら片付けて生きるより、
目先の楽を考えて散らかして生きる方が楽しいってこと。だから本
返して」

彼女は口元をゆるめた。失笑の形。

「たしかに、そんな考え方もあるかもね。でも、目先の楽を考える
のもいいことだけど、少しは同居人の事も考えなさい。明日の自分
が楽よ。本は返さないから。私も読みたいもん」

彼女はそう言つて本から足をどかしてベッドの上で読み始める。

「…横暴だな」

そう言つて、とりあえず彼女の激をそらしたわたしは脇にあったゲ
ームを始めた。

「…私が本を読んでいる間に自分の散らかした物、片付けなさいよ」
げ…。

(後書き)

わたしは自分の部屋の片づけを始めると鬱になります。
そんな私自身から発生したものです。
読んでくださってありがとうございます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7268/>

友達兼同居人

2011年1月27日15時07分発行